

《令和七年度暗唱⑦》

坊つちやん

夏目漱石

親譲りの無鉄砲で 小供の時から 捜ばかりして居る。小学校に居る時分 学校の二階から飛び降りて 一週間程 腰を抜かした事がある。なぜそんな 無闇をしたと 聞く人が あるかも知れぬ。別段 深い理由でもない。新築の二階から 首を出して居たら、同級生の一人が 冗談に、いくら威張つても、そこから 飛び降りる事は出来まい。弱虫やーい。と 離したからである。小使に負ぶさって 帰つて来た時、おやじが 大きな眼をして 二階位から飛び降りて 腰を抜かす奴があるか と云つたから、此次は 抜かさずに 飛んで見せますと 答えた。